

News Letter 足羽川ダム News Letter ニュースレター

安全でゆたかな
うるおいのある
くらしをめざして

創刊にあたって

足羽川ダム建設事業のご紹介

国土交通省近畿地方整備局

足羽川ダム工事事務所

このたび、国・福井県及び福井市の三者を共同発行人として、足羽川下流地域の住民の皆様へ足羽川ダム建設事業をご紹介しますため、「足羽川ダム・ニュースレター」創刊号をお届けすることになりました。

なお、このニュースレターは足羽川ダムに関する情報発信の一つとして、これからも皆様にお届けする予定ですので、ご愛読の程よろしくお願ひ申し上げます。

足羽川ダムは、昭和五八年度に足羽郡美山町で計画調査を開始し、平成六年度に洪水調節を中心とする治水と利水の多目的ダム建設事業として採択されました。

しかし、平成七年から九年にかけて、このダムの事業の目的や内容等についてダム審議委員会で審議していただいた結果、「足羽川ダムは治水・利水上からも必要であるが、現計画の美山町でのダム建設は大きな犠牲（水没戸数約二二〇戸）を伴うので、極力水没戸数を少なくするよう事業者は最善の努力をすべき」という意見が出されました。

これを受けて近畿地方整備局では様々な代替計画を検討し、平成十一年十一月に今立郡池田町の足羽川支流の部子川にダムを設けると共に、他の四つの支川からも洪水を導水するという、水没戸数約五〇戸の代

替計画案を公表しました。

代替計画案が技術的に実現可能かどうかを判断するため、平成十二年度から実施してきたダム予定地の地質調査（ボーリング調査等）もほぼ終了しましたのでこれらのデータ等を分析し、技術的実現の可能性について公表します。

その後、代替候補案ダムの事業計画をとりまとめ、現計画ダムと総合的に比較検討して、足羽川ダム計画の方針案を明らかにする予定です。

また、足羽川ダムに関する詳細情報は当事務所のホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

足羽川ダム概要図



なぜダムをつくるのか。

ダムの必要性

福井県土木部河川課

ダム建設・足羽川ダム対策室

水は地球とそれを取り巻く大気の間を絶えず循環しています。

地上や海から蒸発した水は雲となり、やがて雨となって地上に降ります。地上に降った雨は川や地下水になり、やがて海に流れ出ていきます。私たちが利用する水は、もとはといえば全てこの雨です。

しかし、雨は場所的にも、時間的にも、量的にも片寄った降り方をします。豪雨によって洪水になったり、長い間雨が降らなくて渇水になったりします。雨の降り方をコントロールできれば水の利用は大変楽なのですが、それが出来ません。となると、地上に降ってからの川への流れ出し方をコントロールするしかありません。

そこでダムが登場します。



ダムは豪雨のときに水を貯めこんで川に流れ出す水の量を調節し、川の氾濫や洪水を抑制します。人工密集地である福井市中心部は、九頭竜川、日野川、足羽川に囲まれた低地に形成された市街地のため、洪水の被害は甚大なものと予想されます。

洪水を抑制するためには、川の幅を広げたり、堤防を高くするなど方法もありますが、これらの方法は福井市中心部の足羽川沿いでは、大規模なビルの移転とか橋の架け替えが必要になるなど、限界があります。

これらの限界を補いながら、洪水を抑制するために足羽川ダムが計画されています。

安全で安心できる社会をつくるために、県内では九頭竜ダム、真名川ダムや広野ダムなどが活躍しており足羽川ダムもその一翼を担うものとして期待されています。

福井市と足羽川ダム

市民の生命と財産をまもる

福井市建設部河川課

福井市は九頭竜川・日野川・足羽川の高い堤防に囲まれた低地に発達してきた都市です。

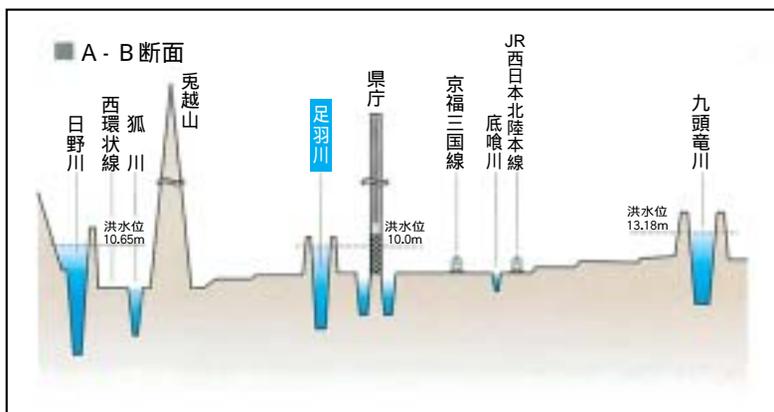
このため、一度大雨が降り河川が氾濫すると市民の生命・財産に甚大な被害が発生することになります。

このことから、九頭竜川では九頭竜川再改修事業が進められており、治水安全度は向上してきています。

日野川におきましても福井市地先で川幅を拡げる引堤事業や河道の改修事業を行っており、洪水に対する安全度は徐々に向上してきています。

一方、足羽川については河道や橋の架け替

福井市街地に着目した想定氾濫区域図



上図から福井市街地は、九頭竜川、日野川、足羽川のどの河川が氾濫しても浸水被害を受けることがわかります。



注) 図中の値は、標高を示している。

え等の改修事業が進められています。現在の福井市街地では高度な土地利用がされており、長い区間にわたる大幅な引堤や堤防の嵩上げが困難なことから、「安全で快適な社会基盤の形成」を図る上で足羽川ダムの建設が必要です。

編集後記

今年の夏は、雨も少なく異常な猛暑でした。このため、足羽川沿いの農業用水は、一時「番水」制で取水されたそうです。幸い、濁水も大事に至らず、今年はお米も豊作と聞いておりなによりです。

それで思い出されるのは平成六年夏の大濁水のことです。当時の新聞によると農業用水を確保するため足羽川堰堤（前波町）で足羽川の流れを止めたため、天神橋から毘沙門橋の一キロ間は完全に干し上がりました。

足羽川ダムの建設目的の一つには、こうした濁水時においても、川に水が流れるようにダムから水を補給し、足羽川の美しい流れを維持し、魚などの生息環境を保全する役割があります。ダムの建設は、水没する地域が生じるなど、その地域に影響を与えるため、関係者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。ダムの効果が広範囲に及ぶため、流域全体として考えていく必要があります。

今年、足羽川が渇水により枯れた様子。この写真は、毘沙門橋から上流を望む様子です。



渇水により枯れた足羽川 (毘沙門橋から上流を望む)

【共同発行人】 ご意見、ご感想等、みなさんの声をお寄せ下さい。

国土交通省近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所

〒918-8239
福井市成和1-211 ポラリスビル
TEL(0776)27-0642(代) FAX(0776)27-0643
<http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/index.html>

福井県土木部河川課
ダム建設・足羽川ダム対策室

〒910-8580
福井市大手3-17-1 県庁
TEL(0776)20-0486 FAX(0776)20-0696
<http://info.pref.fukui.jp/kasen/index.html>

福井市建設部河川課

〒910-8511
福井市大手3-10-1 市役所
TEL(0776)20-5492 FAX(0776)20-5745